

# なぜ 学校に 行くのか

誰であろうと、学校に行くのが嫌な時に思うことがあるだろう。「なぜ学校に行く<sup>①</sup>ヒツヨウがあるのか。」と。

そもそも子どもが、学校に行かなければいけない、という理由はない。<sup>②</sup>ギム教育は、親のギムとして子どもを教育させなければならぬということである。ただ、子どもの立場に立てば、「学校に行かなければならない」と思ってしまうような理由が、色々あることに気づくだろう。

一つめは、親のキタイへ<sup>①</sup>応えよう<sup>③</sup>という気持ちである。親は子どもが学校へ行かない場合、不安になるだろう。「今日は学校へ行きたくない<sup>④</sup>」と言うと、親は「なぜだ」「いじめられているのか」「学校にホウコクしなければ」などと子どもが思うよりも大げさに動くものである、そしてそれが親である。だからこそ、親を心配させたくない気持ちを重んじて、「今日学校休みたい<sup>⑤</sup>」とは言いづらくなるのだ。

二つめは、友達への負い目である。休みの翌日に学校へ行くと、友達は「昨日何で休んだの?」「風邪?大丈夫?」「久しぶりだね。」などと言うだろう。そういうことを想像すると、「なんとなく行きなくなかったから。」とは言いつらいものである。友達も行きたくないはずなのに、自分だけ楽をしてしまうとなると、申し訳なくなるのが人間である。

三つめは、将来への不安である。「こんなことで休んでいて、将来自分はどうなるんだろう」「学校へ行かなかったらなんとなく駄目なんじゃないか」と自分で考えるのである。行きたくはなくとも、「学校に行って勉強をしたほうがいい」とどこかで思っている自分がいるのだ。

これら三つの気持ちや不安よりも「学校へ行きたくない」という気持ちが勝つのであれば、子どもは自信をもって休んだ方がいいだろう。心に傷が出来てしまう前に、しっかり休むべきである。それは子どもだけでなく、大人にも言えることである。



# なぜ 学校へ 行くのか

名前（

）

問1

① 親のキタイへ応えよう

とありますが、この気持ちがある

とどうなる、と筆者は言っていますか。二十文字以内で書き  
ましょう。


問2

次のうち、筆者の意見と異なるものを一つ選びましょう。

ア 子どもが学校へ行かなければいけないと思う理由は主に三つある。

イ 子どもには子どもなりの学校を休みづらい理由がある。

ウ どんな理由があろうと、子どもは学校に行かなければならない。

問3 筆者の意見として合うものを一つ選びましょう。

ア 子どもは親の気持ちを考えると、学校に行きたくなる。

イ 子どもは友達のことを考えると学校を休みたい気持ちが強くなる。

ウ 休みたい気持ちはあるものの、学校へ行っておいた方がいいと考  
える子どもが一定数いる。

問4 カタカナを漢字に直そう。（横の数字は習う学年）

① ヒツヨウ

② ギム

③ キタイ

④ ホウコク

4

4

5

5

3

3

5

5

# なぜ 学校へ 行くのか

名前（ こたえ ）

問1

① 親のキタイへ応えよう とありますが、この気持ちがある

とどうなる、と筆者は言っていますか。二十文字以内で書き  
ましょう。

「	学
校	を
休	み
た	い
」	と
	親
に	言
い	づ
ら	く
な	る
。	

問2

次のうち、筆者の意見と異なるものを一つ選びましょう。

ア 子どもが学校へ行かなければいけないと思う理由は主に三つある。

イ 子どもには子どもなりの学校を休みづらい理由がある。

ウ どんな理由があろうと、子どもは学校に行かなければならない。

ウ

問3 筆者の意見として合うものを一つ選びましょう。

ア 子どもは親の気持ちを考えると、学校に行きたくなる。

イ 子どもは友達のことを考えると学校を休みたい気持ちが強くなる。

ウ 休みたい気持ちはあるものの、学校へ行っておいた方がいいと考  
える子どもが一定数いる。

ウ

問4 カタカナを漢字に直そう。（横の数字は習う学年）

- ① ヒツヨウ
- ② ギム
- ③ キタイ
- ④ ホウコク

4 必要

5 義務

3 期待

5 報告